減少著しい第一次産業（人口）

人口 18,592　世帯 4,443

国勢調査まとまる

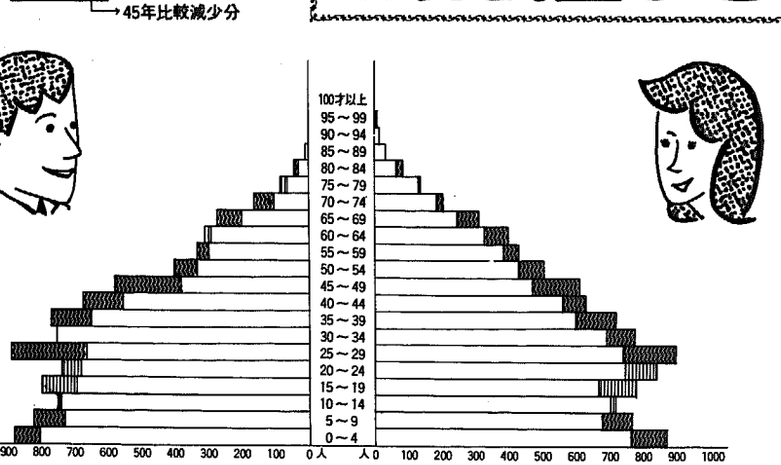
昭和五十年十月一日現在で実施された国勢調査結果が、ようやくまとまり、新潟県の人口は二三九万一千九二八人と前回（四十五年）に比較し、三万九五六人の増加、世帯数は六〇万八千八九七〇世帯の増加となり、人口増に対し、世帯数の増加が上回っていることは、核家族現象が進んできているものです。

黒埼町は、人口一万八千五九二人、四千四四三世帯で、前回比では、人口一千七七四人、七九二世帯の増加となっています。しかし国勢調査から一年六ケ月を経過した今日、住民登録人口では、四月末現在、人口一万九千三四五人、四千七一二世帯で、七五三人、二七一世帯も増加し、新潟市近郊住宅地として通勤などの利便さから、なお当分、増加の傾向は続きそうです。

25～29才代が大巾に増加
15～24才が減少

グラフを見ていただければ、お わかりのように、十五才から二十四才までの少、青年層が減少し、そのほかの年代はほとんどが増加しています。特に増加の著しい、二十五才から四十九才代が三八九人、四十五才から四十九才代の三六五人の増加が目立っています。

年令別人口構成

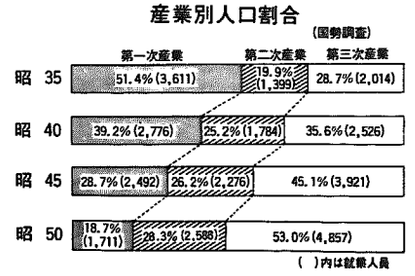


就業人口

産業別就業者人口をみますと、調査年ごとに、第一次産業の減少が目立っています。これは都市近郊農村として立地していることや農業機械の発達により、余剰労働力が他産業へ流出しているものと考えられます。

グラフのとおり、第一次産業とまったく逆の増加傾向にある第三次産業は、卸売業、小売業などに従事する人が二千一一五人でトップ、続いてサービス業の一千五二四人の順となっており、製造業、建設業など、第二次産業が年々わずかながら伸びています。

産業別人口割合



善意に感謝

◎焼鮒団地自治会
団地内遊園地内にジャングルジム一基寄贈

（警察署から）

警察官採用

◎A特別試験（五十二年十月採用）
新潟県の警察官になるための試験です。
◎A試験（五十三年四月採用）
新潟県、警視庁、埼玉、神奈川、千葉の各都県の警察官になるための試験です。
一、受験資格
二十二才から二十八才未満の男子で、大学卒業者（卒業見込者を含む）
一、受付
七月二十五日まで、このほか詳しいことは、もよりの警察署、派出所、駐在所へお問い合せください。

機敏な通報で
犯人検挙

六月三日、黒埼町山田地内で発生した窃盗事件で、主婦Aさんが犯人の人相、年令、服装などを覚え、すぐ一一〇番へ通報、犯人をスピード検挙することができ、Aさんへは表彰状が贈られました。

「メシロ」からが繁殖期

みどりの大敵アメシロの発生時期となりました。町ではこれを撲滅してみどり豊かな住みよい環境を目ざして、次の重点目標を定めこれの防除の万全を期すことにしましたので町民各位のご協力をお願いします。

◎重点目標
一、毎朝各戸の宅地内及び周辺の樹木に注意し巣の発見に努めてください。
二、巣を発見したら、巣から分散しないうちに巣をとるか、その枝を切り取って焼き捨ててください。
三、この虫は年に二回ふ化するので六月から九月まで注意が必要です。
四、巣取りができず、巣から分散すると薬剤防除以外に手がないので自治会長に連絡してください。

農政課

保険料を納めていれば
大丈夫です。

国民年金保険料は納期限内にキチンと納めましょう。

人の一生には、たとえば、年をとると働けなくなる。また、病気や事故で障害者になれば働くことができなくなる。それに、一家の大黒柱を失えば収入がなくなる…というようなことが考えられます。これらに共通していることはみな収入を得る力がなくなったときのことですが、それを個人の力で十分準備しておくことは、決してやさしいことではありません。このようなときに、その生活の担い手となるのが国民年金です。いわば、年金は、長い人生航路の船頭としての重要な役割をしてくれます。万一の場合に所得保障をしてくれるこの年金も、保険料を納め忘れにしておきますと、受けられないことがあります。また、保険料を滞納しますと、ますます額がかさみ、いっそう納めにくくなります。保険料は決められた期限までに必ずキチンと納めるように心掛けましょう。第一期保険料の納期限は六月末日でした。納め忘れの方は、いますぐ納めるようにしましょう。

7月から社会保険相談室を開設！

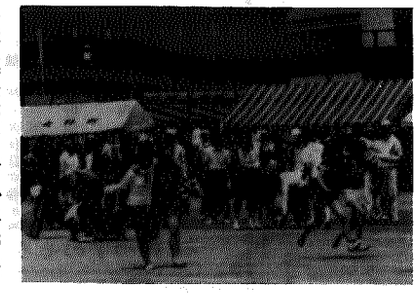
ところ　健康文化センター新潟厚生年金会館（新潟市流作場一―一）
と　き　毎月一日・十六日の二回　AM10：00～PM3：00
主　催　新潟社会保険事務所
　　健康文化センター
　　新潟厚生年金会館
☆厚生年金、国民年金、健康保険など、お気軽にご相談ください。
☆各種関係諸用紙の配付受付もいたします。
☎四三一―四二二五一（新潟厚生年金会館「しあわせコーナー」）

第16回 寺地チームに初の栄冠
町民親善大運動会

今年で第十六回を数えた町民親善大運動会は、去る六月十九日黒埼中学校グラウンドで、十九チーム、三千人の選手、観衆を集めて盛大に繰り広げられ、接戦の末寺地チームが初の栄冠に輝きました。

この日、心配していた雨もカラリと晴れあがり、梅雨晴れの絶好の運動会日和りに恵まれ、年を追う毎に盛りあがりを増してきた、この大会には、各部落とも予選会を行って選手を選考するという熱の入れよう、したがって今大会は例年にない盛りあがりを見せ、白熱した大接戦、寺地と大野チームが同点という結果となったが、種目別に上位入賞の多い寺地に軍配があがり、初優勝を飾りました。

また、中食時には、各部落の婦人三百人の民踊の輪がグラウンドいっぱいに広がり、白熱した競技の合い間のひとときを楽しませ、午後五時全競技を終了、県民スポーツの日を記念した大会の幕を閉じました。



成績は次のとおり
優勝　寺地58、二位　大野58
三位　黒鳥57、四位　北場57
五位　寺地団地56、六位　立仏55、七位　板井54、八位　金巻52、九位　木場50、十位　焼鮒団地47。（数字は得点）